

レクチャー1 13:50-14:30 (第1 Zoom 会場)

チーフならではの勉強会運営 Tips とは？

○ 福井 翔 (聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center フェロー)

チーフレジデントにとって研修医教育は大きな役割の1つです。次期チーフのみなさんの中には、チーフになったら研修医教育に携わって、研修医のみんなの成長を助けよう！と意気込んでいる人も多いのではないのでしょうか？

教育といってもベッドサイドティーチングや症例検討、レクチャー、プロフェッショナルリズムや患者接遇など業務内外の様々な内容があります。その中でもこのレクチャーでは、Morning report (朝会)、症例検討やレクチャーの運営を取り上げます。

いざチーフレジデントに立場が変わると、これまでは”参加者”だった勉強会等の”主催者”となり、責任を感じるようになります。そうすると進行の仕方、効果的な開催の仕方、問題が発生したときの対応などに戸惑ってしまい、反省することも多くあるものです。

チーフの立場を生かした運営は間違いなく研修医教育に有用だと多くのチーフが確信しています。このレクチャーでは、様々な施設のチーフの経験や JACRA で集められた意見を元に、次期チーフのみなさんにとって大事な教育運営の Tips をお伝えします！

福井 翔 (福井 翔 (聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center フェロー、JACRA 世話人))

岐阜県岐阜市出身。2014年、名古屋市立大卒。聖路加国際病院で初期および後期内科研修を行い、2017年度第1期内科チーフレジデント。2018年度より同院 Immuno-Rheumatology Center に所属。2020年度より聖路加国際大学 公衆衛生大学院生。最近は臨床研究に没頭しています。「理解の難しいリウマチ膠原病を研修医、内科専攻医にどう理解してもらおうか？」が最近の教育テーマです。